

令和6年度 佐賀県立太良高等学校第6回学校運営協議会 議事録

- 1 日 時 令和7年2月28日(金) 10:40～12:10
- 2 場 所 太良町中央公民館 2階 視聴覚室
- 3 出席者 14名【佐賀県教育委員会事務局(1名)、学校運営協議会委員(5名※欠席2名)、事務局員(6名)】

4 会議内容

(1) 開会

(2) 会長挨拶

- ・太良高校の年間活動所見
- ・今回の協議内容紹介

(3) 学校長挨拶

- ・卒業式・卒業生の振り返り
- ・コミュニティスクール導入から活動の紹介

(4) 報告事項

① 高校魅力化評価システムについて(中村)

☆調査結果について報告

【強み】

人と関わっていく・関わり方を重点目標とした結果、生徒一人ひとり、また生徒相互に成長することができた。自分が太良高校の生徒として学習・活動しているという自覚を持てている。

【伸びしろ】

積極的に人と関わることができるようになったという今回得た強みをいかして、地域の人(外部の人)との関りを通した活動を行うという次のステップに進めるだろう。

② 令和6年度学校評価(最終評価・学校関係者評価)について(教頭)

☆評価点・課題点を報告

【評価点】

太良高校の強みは多様な生徒への支援体制の充実

生徒に自信を取り戻させる環境を整えるというテーマ

いじめの早期対応(場合によっては特性のある生徒に対しての対応が必要だが、先生方も慣れてきている)

弓道部の活躍(文武両道)

地域貢献に参加する機会を増やしていただき、積極的に活動できた

不登校支援・特性のある生徒への支援が本校の個性となっている

【課題点】

- ・働き方改革についての項目が唯一「B」評価となっている
- ・少子化の影響を受け、生徒募集をどのように行うべきか
- ・今後の広報活動をどのように行っていくか

③ 令和6年度の取り組みについて（中村・リュウ）

【HOT Challenge について】

今年度の HOT Challenge 学習状況、単位取得状況報告

来年度の HOT Challenge 履修希望者状況報告

- ・履修希望者の増加により、ボランティア活動の受入れ先が課題点になる。

【委員会活動の活性化で社会性・主体性の成長】

生徒の会議・講話への参加姿勢が変わった

→積極的に自分の意見を言う、言っているという安心感をもつことができた

KAGURA の今後の活動について

→現役生と卒業生の交流を目的とした外部組織の発足（川原狂言含む）

【SNS】

太良高校公式Instagram開設・投稿の紹介

（5）協議・意見交換

- ・教育活動について（校長）

○学校運営計画（案）を提示

【重点目標】

- ◇真の学力（自分で考え行動する力）を育成する
- ◇生徒の主体性を高め想像力を育成する教育活動の実践
- ◇地域と共同した教育活動の活性化

【具体的方策】

- ☐ 体験学習・KAGURA 等の地域と協働した選択科目の充実
- ☐ 「HOT Challenge」の活性化
- ☐ AI 学習教材（すらら）の効果的活用
- ☐ 不登校生徒へのハイブリッド遠隔授業（文部科学省指定事業）
- ☐ 通信教育の実施
- ☐ 生徒委員会活動「たらこうフレンズ・たらスタ」の活性化

- ・来年度の協議委員選考について（校長）

保護者代表は再度選考、新たに KAGURA の外部講師一宮田様を委員へ
その他の委員は次年度も引き続き任命

- ・次年度へのご意見について（各委員の皆様から）

→Hot チャレンジを通じて、町内の不登校児との遠足

【広報関連】

→ホームページの情報発信、生徒の活動を見たら、保護者の視点で情報は入って
いくのでは？

→学校の特色をアピールして、生徒も自分に合ったものを選べるみたいな感じ

→地元の小中学校に、太良高校の変化・新しい取組をもっとアピールしていく。

→・学校の特色が現れるキャッチコピーを一つ作っていく。

- ・その他

（６）指導助言

佐賀県教育委員会事務局教育振興課指導主事 細國 真紀 様

- ・太良高校の地域とのかかわりの深さについて言及
- ・この活動で得られる成果にも繋がっている
- ・志願倍率改善のため学校魅力化への議論を来年度以降も続けていきたい

（７）事務局より連絡

- ・次年度以降の案内は後ほど作成して委員の方へおしらせ

（８）閉会